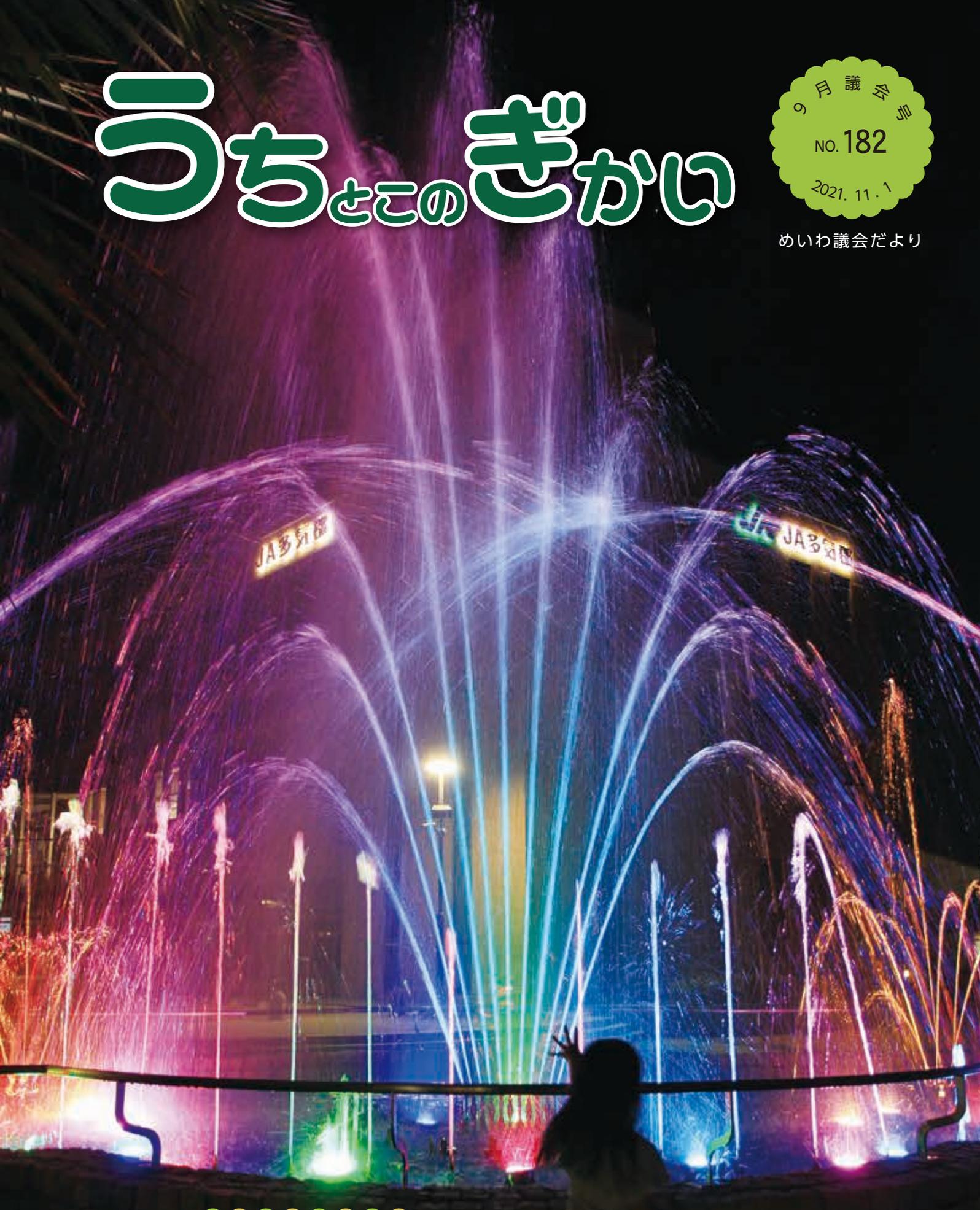


うちとこのぎかい



めいわ議会だより



CONTENTS



- P. 2 委員会レポート
- P. 5 一般質問
- P. 9 その後どうなった
- P. 10 キラッと輝く人たち

町の夜を彩る美しい噴水
毎週金・土・日曜日 17:30 ~ 20:00
(時間等変更となる場合があります)

— JA多気郡本店にて —

委員会レポート

総務産業常任委員会

9/1

主な内容 ● ふるさと寄附（納税）順調に推移！

- 令和3年度ふるさと寄附金が本年7月末現在で、2億5,874万7,449円（14,447件）になるとの説明がありました。今後も工夫を凝らし寄附者が利用しやすいよう取り組みをすすめていくとの説明を受けました。
- 令和2・3年度の町への寄附金（10万円以上で現金のみ）について説明がありました。この寄附金は、寄附された方の意向に沿った教育振興や安心・安全のまちづくりに役立てていくとの報告がありました。
- 令和3年度明和町職員前期採用試験の結果と、令和3年度明和町職員後期採用試験受験申込状況について説明がありました。
前期・後期とも建築士の申し込みが無かったため、受検資格等の見直しと、選考試験による採用を検討していく、とのことでした。
- 大淀漁港泊地・下御糸漁港航路の浚渫工事調査についての説明がありました。下御糸漁港航路

については、利用者（漁協正組合員）減による費用対効果の検討を行うよう、また新たな利活用の推進も併せて要望致しました。

- 水道料金の見直し検討について説明がありました。「人口予測などに基づく収入見込み」「重要管路（水源地～防災拠点・医療機関・指定避難所）の耐震化」「老朽管の更新」などを今後40年という期間で試算し、最も経営が安定する投資額と整備期間を設定した結果、収入を約10%増加させる必要があるとのことでした。このため、段階的な料金改定が必要で、当面の適正な料金算定結果から本年12月議会にて水道料金を5%程度引き上げる条例改正の上程を予定しているとの報告を受けました。※目安として一般的な家庭（水道口径13mm・使用水量20m³/月）で、県平均2,715円に対し、現在の2,310円から2,420円程度になる見込みです。

教育厚生常任委員会

9/2

主な内容 ● 斎宮駅前～伊勢街道沿いエリア 環境整備

- 斎宮跡・文化観光課より明和町観光商社による今年度事業として主に斎宮駅舎公衆トイレ改修など計画の説明を受けました。おしゃれな公衆トイレに改修されるということです。
また、行政主導の行事として「異文化交流によるNEWチャレンジャー支援事業」の進捗の報告があり①史跡斎宮跡を活用したやりがい創出事業②移住・定住・起業者支援、ワカモノ起業応援事業③明和ブランド販路拡大④地元放送局を活用した情報発信⑤映画などのロケ地誘致を目的とした支援・プロモーション⑥ロケツーリズム環境整備工事などの説明を受けました。
- 生活環境課より「明和町自治会の設立基準等に関する要綱」の変更説明がありました。新規自治会設立の戸数は概ね10戸より30戸に変更されました。
- 住民ほけん課より、次回「明和の里指定管理者」

の募集要項の説明がありました。

（指定期間：令和4年4月～令和9年3月）

- 健康あゆみ課より、新型コロナウイルスワクチン接種の報告を受けました。町内65歳以上の接種率は87%と高いですが、希望される町民の方全てが早く接種できるよう、今後一層の努力を強く要望しました。
- 教育課より、給食調理業務計画が示され、中学校に加え小学校等についても現在の直営業務から業務委託へと移行していき、令和8年度には最終形態で直営2カ所、業務委託4カ所となります。
- こども課より「斎宮幼稚園」が令和6年度に閉園され、新たに同地内に「認定こども園」が新設されます。「みどり保育所」もこれに併せて、こども園化し（一部改築を行う）就学前児童の受け入れ強化を図るとの報告を受けました。

主な内容 ● 新小学校等の基本構想（案）の住民説明会の中間報告と小学校区編制等事業の進捗状況について

● 執行部からは①新小学校等の建設基本構想（案）の住民説明会の中間報告の概要。②説明会のコロナ禍での対応。③新小学校等の建設基本構想策定のための建設検討委員会を設置して9月末を目途にまとめる準備をしているところで、全5回の予定で現在3回終わっている。④現時点での主要部分の基本理念・コンセプト・諸室の一覧と配慮検討事項・敷地計画のイメージ等の説明。⑤設立準備委員会は10月設立を目途に準備中、跡地利用検討委員会は令和4年1月の設立を目途に構成員等の準備を進めている。⑥修正小学校については、統合先小学校の決定や閉校時期の決定等に、地元と説明会・打ち合わせ等を開催して進めているとの説明がありました。委員からは①1学級35人から30人への考えは。②構想（案）等の英語表記の語句の説明を。③設立準備委員会等の委員構成で見識者の構成の充実を。④跡地利用の検討委員会の構成メン

バーと各地区の違った環境への対応は。⑤特別支援員・教室はどこまで詳細に打ち合わせているのか。⑥斎宮小学校の統合小学校開校時の児童数の推移と、その地区への説明と対応を。⑦スクールバスの停留所数について。⑧各委員会の地元委員の方は、熱心で統合小学校に入る児童の保護者の方を。⑨コロナ禍での地元説明会の在り方と今後のスケジュール、沢山の方に来ていただく方法を。⑩プール授業の在り方について。⑪認定こども園の保育室の部屋数増について。⑫修正小学校関係では、地元へスケジュールを明確に。⑬通学路の交通安全及び跡地利用の検討は3校の統合学校より早く等の意見が出されました。今後も、明和町小学校区編制にかかる事業は大変重要でありますので、皆様にご理解いただけるように努めると共に事業計画・跡地利用等の充実を図っていくとのことです。

令和3年
9月定例会

令和3年第3回定例会が、9月7日から16日までの会期で開かれ、提案された議案は原案のとおり可決しました。それぞれの結果は下記の通りです。なお決算特別委員会が9月13日から14日にわたり開かれました。

議決結果一覧表

議案番号	件名	結果
同意第 2号	教育委員会委員の任命同意について【辻美穂氏】	可決
同意第 3号	教育委員会委員の任命同意について【田川昌之氏】	可決
承認第 4号	専決処分した事件の承認について 令和3年度明和町一般会計補正予算（第4号）	可決
承認第 5号	専決処分した事件の承認について 令和3年度明和町一般会計補正予算（第5号）	可決
議案第50号	明和町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第51号	明和町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決

議案第52号	令和2年度明和町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第53号	令和3年度明和町一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第54号	令和3年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第55号	令和3年度明和町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第56号	令和3年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第57号	令和3年度明和町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第58号	令和3年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第59号	令和3年度明和町水道事業会計補正予算(第1号)	可決
認定第1号	令和2年度明和町一般会計歳入歳出決算認定	可決
認定第2号	令和2年度明和町斎宮跡保存事業特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第3号	令和2年度明和町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第4号	令和2年度明和町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第5号	令和2年度明和町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第6号	令和2年度明和町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第7号	令和2年度明和町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第8号	令和2年度明和町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第9号	令和2年度明和町水道事業決算認定	可決

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。

議員名 議案番号	奥山 幸洋	松本 忍	乾 健郎	阪井 勇男	下井 清史	江 京子	田邊 ひとみ	綿民 和子	北岡 泰	山内 理	中井 啓悟	樋口 文隆	高橋 浩司	伊豆 千夜子
議案第53号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第55号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第8号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	

議長 伊豆千夜子は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決。「○」は賛成、「×」は反対。

一般質問

9月議会の一般質問は、9月7日に行われました。

質問議員

高橋 浩司	議員	5 ページ
下井 清史	議員	6 ページ
北岡 泰	議員	6 ページ
田邊ひとみ	議員	7 ページ
松本 忍	議員	7 ページ
中井 啓悟	議員	8 ページ
江 京子	議員	8 ページ

- 一般質問の様子は、令和3年11月12日・13日・14日に、松阪ケーブルテレビ明和町行政チャンネルでご覧いただけます。
- 明和町ホームページの「明和町サイトへ」をクリックしてください。次に右図の明和町ホームページ下部「明和町議会」をクリックしていただくと、議会だよりのバックナンバーがご覧いただけます。
- ふるさと会館・役場閲覧室などに備え付けの議事録もご覧ください。



Q 安心して暮らせる町づくりについて

A 災害時は関係住民に危険周知を行う



質問 ①土砂災害に対する予防対策と発災時の住民への周知等を問う。②ため池や齋宮調整池の包括的リスクを想定・反映したハザードマップの見直しを求める。③ため池の転落防止など安全対策を問う。④消防団の二輪隊編制の進捗と効果的な団員確保を求める。⑤消防団員への防災士の資格取得のPRと費用補助を求める。

答え ①土砂災害情報を防災アプリ「キキクル」等で周知。台風時には、土砂災害警戒区域の状況確認と、直接関係住民に危険周知を行っている。一部、法面安定のため、剪定間引き等を町で行い安全を図っている。いただいた一部以外への課題については、今後検討をする。②現在のハザードマップは、ため池が満水時の決壊を想定しており、大雨が予想される場

合には、池に流入する流量の調整等の決壊を防止する対応を行っている。今後、ハザードマップ委託先と協議を行い、包括的リスクを含めた想定を実施したいと考える。③明和町にある8つのため池のうち、4つのため池は防護柵が設置されている。防護柵が設置されていない4つのため池において、現在は農業用ため池として使用していないため池もあるので、ため池を廃止することも含めた対策を管理者と協議を行い進める。④令和4年度中の活動開始に向けて、活動内容を定める指針について検討している。団員確保については、任務や使命とともに、活躍することのメリットなどをアピールする。⑤団員として一定の役職に就いたり、経験を積むことにより、消防関係資格試験において優遇措置を得られることなどをPRしていく。資格取得に係る費用負担補助については、資格を取得された方が活躍できる仕組みづくりも含めて検討していく。

他の質問

- みえ森と緑の県民税と森林環境譲与税のこれまでの取組と今後の活用は

Q 地域住民の安全性・
利便性向上のための
道路整備を

A 状況調査し、計画的
に修繕を進めていく



下井清史 議員

質 問 ①国道・県道について、また町道の
標識や白線等の修繕についての町の考えは。②
確認がしづらい町道坂本・前野線の小藪付近交
差点や、町道大淀港・大霜線と漁面道路との交
差点についてはどうか。③県道大淀港斎明線の
大淀地内の道路側溝蓋の整備についての考えは。

答 え ①町内の国・県道に修繕等の要望
があった場合、現地を確認し担当者に伝える。
要望書の提出がある場合、明和町長の副申を
添えて要望をしている。改善に至らなかった場
合には、過去からの改善されていない要望に加
え翌年度に再度要望をする。町道の修繕につ
いては、道路状況を調査した結果により計画的に

修繕を進めていく。②小藪地内の町道坂本前野
線と町道下尾小藪線交差点は、分かりづらいた
め道路警戒標識等の設置を検討していく。大淀
地内の県道大淀東黒部松阪線と町道大淀港・大
霜線交差点の、分かりづらいことに対する対応
は、県道であるため、県に要望をする。③県道
大淀港斎明線の大淀地内の道路側溝蓋改良につ
いては、引き続き県に要望をしていく。



▲消えている道路標識（町内）

Q 気象庁との連携で
防災減災対策の
充実を求める

A 津地方気象台と協議
しながら検討したい



北岡 泰 議員

質 問 ①地方公共団体の防災現場で即戦
力となる気象防災の専門家を育成する「気象防
災アドバイザー」活用の検討状況。②聴覚障
がい者への情報伝達手段として「遠隔手話通訳
サービス」「電話リレーサービス」の周知と活
用。

答 え ①台風や長時間に渡る大雨などの
際に災害対策本部に来て、避難情報を発令する
タイミングや対応策などの助言をいただけるこ
とは大変心強い。このように必要な時に派遣を
していただくことが可能かどうか、津地方気象
台と協議をしながら検討したい。②「遠隔
手話通訳サービス」「電話リレーサービス」につ
いては、事前登録による体験や利用登録が必要
であることから、手話通訳派遣依頼の申請受付
時にこのようなサービスがあることをチラシ等
で周知していく。

Q 高齢者対策の充実を求める

A 生活支援員の活動支援体制づくりが
重要

質 問 判断能力が不十分になりつつある
状態の時に支援を行う「生活支援員」の体制整
備や判断能力を喪失した場合の「市民後見人
（成年後見人）」の体制整備、及び、「認知症高
齢者等個人賠償責任保険事業」の導入を求める。

答 え 生活支援員については、三重県社
会福祉協議会において、スキルアップ研修が年
2回開催され、現在11名の方が実際に地域の
高齢者の支援を行っている。今後、支援が必要
な高齢者の増加や生活支援員だけでは支援が
困難な事例も出てきていることから、その活動
を支援していく体制づくりが、今後の大きな
課題であると認識している。市民後見人の体制
整備については、令和4年度開設予定の「成
年後見サポートセンター」において今後検討
していく。認知症高齢者等個人賠償責任保
険事業の導入については、導入している近
隣市町の状況を参考に、前向きに検討して
いく。

Q 脱炭素社会へ向けての取り組みを問う

A ゼロカーボンシティ宣言で対策強化を



田邊ひとみ 議員

質 問 ①地球温暖化対策・脱炭素社会の実現に向けて明和町の考え方を問う。②温室効果ガス削減目標の数値設定を求めると共に、国補助金の活用はどのようなものかを問う。③プラスチック資源循環法の施行に合わせてプラスチック製品のリサイクルに対する考え方を問う。④伊勢広域環境組合清掃工場の建設計画に関し、住民が納得できる脱炭素社会に相応しい施設となるよう求める。

答 え ①町のこれまでの取り組みとしては、庁舎や公共施設等でのLED化や太陽光発電の設置、公用車のハイブリッドカーの導入、職員によるエコチェックを実施している。また、町民の皆様への3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進啓発を進めてきた。今後、

6町での「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことから、さらに対策を強化していきたい。②ゼロカーボンへの達成に向けて、まず明和町の現状や課題を把握し、今後、町での効果的な削減計画を策定していくための業務に、環境省の「地域再エネ導入戦略策定支援」を活用する。③国の「プラスチック資源循環戦略」に沿って、伊勢広域環境施設組合のごみ処理施設整備基本計画（案）ではプラスチック類をマテリアルリサイクル推進施設で処理し、再資源化及びごみの減量化や発熱量の低下を目指していく。今後、広域環境組合や構成市町と連携し取り組んでいきたい。④8月にゴミ処理施設整備基本計画の住民説明会を実施した。今後、環境影響評価等の説明会の実施を周辺地域にて行うことを検討しており、国の動向を注視しながら、脱炭素社会に相応しい施設となるよう、住民の皆様のご理解を得ていきたい。

他の質問

・明和町のごみの排出量

Q 安心安全なまちづくりについて

A 住環境の整備をはかっていく



松本 忍 議員

質 問 ①都市計画マスタープランの見直しについて町長のビジョンは。また特定用途制限地域と農振区域の整合性が必要ではないか。②県道及び町道の相互移管について、県道に移管される未改良区間の事業計画は。③旧簡易水道施設等の防災井戸としての活用は。④農振区域外農地の農地取得の制限緩和の考えは。⑤県営圃場整備の幹線・準幹線排水路の維持管理について明和土地改良区との調整は。⑥統合小学校建設用地（中学校第2グラウンド）は現在調整池機能を有しているが、排水計画はどのように考えているのか。⑦わな猟免許取得を全額補助にしてはどうか。

答 え ①人口減少社会の中で住環境整備などにより人口維持をはかるため、第6次総合計画などの各種計画や農振区域との整合もはかりつつ見直しを進める。②県道に移管予定の未整備区間については、今後三重県と協議し整備の考え方を示し、都市マスタープランに入れていきたい。③生活用水としての利用は考えていないが、防災・防火用の利用については、自治会からの相談に乗らせていただく。④農地取得に係る5反要件については、全国的には少しずつ緩和の動きがあるようである。当町での規制緩和については、農業委員会と慎重に協議を進める。⑤今後の幹線排水路の維持管理については、事業の実施手法、負担割合等も含め、明和土地改良区と十分な協議を行う。⑥南側の「町道大淀・役場・坂本線」の排水路に繋ぎ込む。⑦現在、町では農作物被害防止のため、わな猟免許を取得した場合に、かかる費用の一部を助成している。今後の補助額の増額については、引き続き検討していく。

Q 新型コロナウイルス 対応と課題

A 感染症拡大防止の呼びかけを引き続き行う



中井啓悟 議員

質 問 ①県が8月12日に県内学習塾でのクラスターと発表したが、これを受け町内民間塾及び明和学びの里などに現状確認、感染対策の指導・支援はされたのか。②明和町LINEの発信において、もう少しコロナ禍に配慮した発信をお願いしたい。③コロナ感染者や関係者に対する誹謗・中傷・コロナと関連づけた部落差別などへの、これまでの対応と今後の取り組みは。

答 え ①他の学習塾の個々への確認は行っていないが、町民全体に感染症拡大防止に向けた内容を防災無線やSNSなどにより感染対策のお願いをしている。明和学びの里は、8月2日以降休止し、これまでの感染対策は来館時に検温やマスクの着用、消毒などを行い学習し

た。再開時には塾生やサポーターへの感染対策について注意喚起する。②町民の皆様がこのコロナ禍の中で、感染防止対策に取り組まれながら、近場や身近な環境で気分転換を図っていただく施設やイベントとして、情報提供をさせていただいたものであることをご理解賜りたい。③昨年、インターネットにおいてコロナ感染者及び関係者などに対する差別や誹謗中傷の書き込みが発見され、町は広報や防災行政無線、行政チャンネル、ホームページやSNSなどによる啓発を実施し、啓発ポスターを自治会や事業所等に配布を行うなど周知啓発に努めてきた。また、町議会や行政から国に対し、ネット上での人権侵害を解消するための法整備を訴えた。これらの対応以降、あらゆる機会を捉え人権啓発を実施してきたことから、今後も持続性を保ちつつ県とも連携して取り組みを進めていきたい。



Q コロナ禍における高 齢者の実態は

A 精神面の不安や運動能力低下の懸念がある



江 京子 議員

質 問 ①新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化が及ぼす、高齢者の精神面の不安・ストレス、運動不足による身体能力の低下、認知症の進行、高齢者虐待・詐欺被害の報告などが増加している。今後の新型コロナウイルス感染拡大に対応する町としての高齢者支援を問う。②高齢者が安全に安心して使える施設の整備について。町はバリアフリー化が進んでいない。公民館や総合体育館は和式トイレが多く、特に総合体育館は階段を降りなくては行けないので、一番使い勝手が悪く危ないトイレと言われている。安心安全に使えるトイレ改修、災害時の避難所や役場の代替場所としても使う総合体育館の電気に頼らないLPガスによる空調設備の設置を問う。

答 え ①新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化が及ぼす、高齢者の精神面の不安・ストレス、認知症や高齢者虐待等の相談については、健康あゆみ課まるごと相談支援係において相談支援等を行っている。運動不足による身体能力の低下については、おとな元気教室等感染予防対策を取りながら、内容の変更など工夫しながら、継続して実施している。介護者健康教室や認知症カフェなどを開催し、当事者や家族が日頃の悩みを相談できることで、介護者の負担軽減を図っていく。②総合体育館は、利用者ニーズも踏まえた上で一定数の洋式トイレの確保を検討、中央公民館についても、和式から洋式トイレへの改修工事の実施について検討する。総合体育館は、災害時に備えて昨年度柔剣道場のガス燃料動力による空調設備を整備した。アリーナの空調整備は、多額の費用が必要となるため、暑さ・寒さ対策については空調整備以外の対策も含めて検討する。

その後どうなった？



シリーズ
第 90 回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

- Q 一般質問の主な内容
- A Qに対する答弁の内容
- こうなった 現在の取り組み状況や結果など



令和2年 9月定例会より

Q

窓口での申請用紙（住民票や戸籍謄本・抄本・印鑑登録証明書等）の簡素化により一本化することで、同じことを書かなくてよいのでは。（伊豆千夜子議員）

A

現在、申請書の本化に向け、様式の見直しを検討しているところである。

こうなった

令和3年5月から、住民票や印鑑登録証明等の申請書を一本化し、諸証明の手数料を窓口で支払うことができるようになった。

Q

児童・生徒が巻き込まれる交通事故が多発する中、包括的な交通安全対策を求める。（高橋浩司議員）

A

学校・警察・保護者と連携し、通学路の安全対策を進めるとともに、より安全なルートを検証・整備を行い、安全確保に努める。

こうなった

通学路交通安全プログラムに基づき、関係者で合同点検を行い安全対策を実施。歩道整備等による歩行空間の確保、区画線の引き直しや着色、通学路の文字設置等を行った。

Q

高齢者の就労、社会参加の場を広げると共に、加齢性難聴者の補聴器購入補助制度の創設を求める。（田邊ひとみ議員）

A

高齢者が現役で活躍し続けられる社会環境整備が必要。補助は国による公的な支援が必要と考えるので国への働きかけを検討。

こうなった

新型コロナウイルス感染拡大の状況ではあるが、引き続き高齢者が活躍し続けられる社会環境整備に努め、国による補聴器補助の公的支援の国への働きかけを検討。

Q

コロナ禍における避難所の増設は。災害人材バンクの進み具合は。（江 京子議員）

A

新たな避難所として、使用していない公共施設等を作っていく。人材バンクや新しく出てくる防災資材の整備を検討していく。

こうなった

発熱等の症状がある方用の避難所として、保健福祉センターを開設する。人材バンクは制度設計中である。有効活用できる資材の整備を検討している。

キラッと輝く人たち

「輝き続ける明星っ子」

(明星スポーツ少年団)

明星スポーツ少年団は、昭和56年に結成され、これまでたくさんの地域の皆様に支えて頂き、今年で40周年を迎える伝統と誇りあるソフトボールチームです。我がチームのモットーは、ソフトボールを楽しむことはもちろん、ソフトボールを通じて、あいさつや礼儀を学び、豊かな人間性をはぐくみ、何事にも全力でプレーしていける強さを学ぶよう取り組んでいます。またチームプレーや集団行動



明星スポーツ少年団 ただいま団員募集中!!

を通じ、チームワークの大切さ、ひとつの白球を追う仲間との協調性、絆を深めるような学校では経験できないことなどを日々指導しています。現在、小学1年生～6年生12人の団員で楽しく笑顔で練習に励んでいます。

毎週土・日(午前中)明星小学校運動場で練習していますので、興味のある方はぜひ見学・体験に来て下さい。団員大募集中!!元氣な明星っ子、待ってます!!

編集委員より

新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活様式も一変し共に生きる社会をつくり出そうとしています。しかし、確証のない噂話が独り歩きし、SNS等が拡散し、人を傷つけます。感染症に対する治療薬が出て、流言飛言を治める薬はありません。私達一人一人が注意することと考えます。

さて、9月議会より本会議運営を円滑に行うため老朽化した音響設備、モニターを改修しました。新型コロナウイルス感染症の沈静化を祈念するとともに、コロナ禍が落ち着きましたら明和町議会へ是非とも傍聴にお越し下さい。

第1回議員ミーティングを行いました

議員それぞれの思いや意見を交換する場として、8月20日(金)に、委員会室で第1回『議員ミーティング』を開催しました。

「委員会・全員協議会・本会議の関係性や在りかた」等を議題として意見交換をしました。



明和町公式LINEで
議会だよりの発行を
お知らせしています。
ぜひご登録を!



議会だよりの編集特別委員会

委員長:北岡 泰 副委員長:江 京子
委員:松本 忍、田邊 ひとみ、綿民 和子、山内 理、中井 啓悟、樋口 文隆

令和3年 第4回定例会
12月14日(火) 午前9時から

■一般質問は14日・15日を予定しています。
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。